

令和8年7月13日	資料 2
第1回山梨県がん対策推進協議会	

山梨県がん対策推進計画（第4次） 中間評価について

- 中間評価の目的・スケジュール を共有し
- 国の中間評価の方法 を参考として
- 本県の中間評価の方針 について議論いただきたい
(評価方法、最終アウトカム指標の変更、コア指標の設定)

1 中間評価の目的・スケジュール

中間評価の目的

山梨県がん対策推進計画(第4次)

- 本計画の期間は令和6（2024）年度から令和11年（2029）年度の6年間
- 今年度、中間評価を実施することとしている

中間評価の目的

- ・ 施策が実施されたか （進捗確認）
- ・ 効果が出ているか （指標で評価）
- ・ 課題を整理し、現在の取り組みを推進

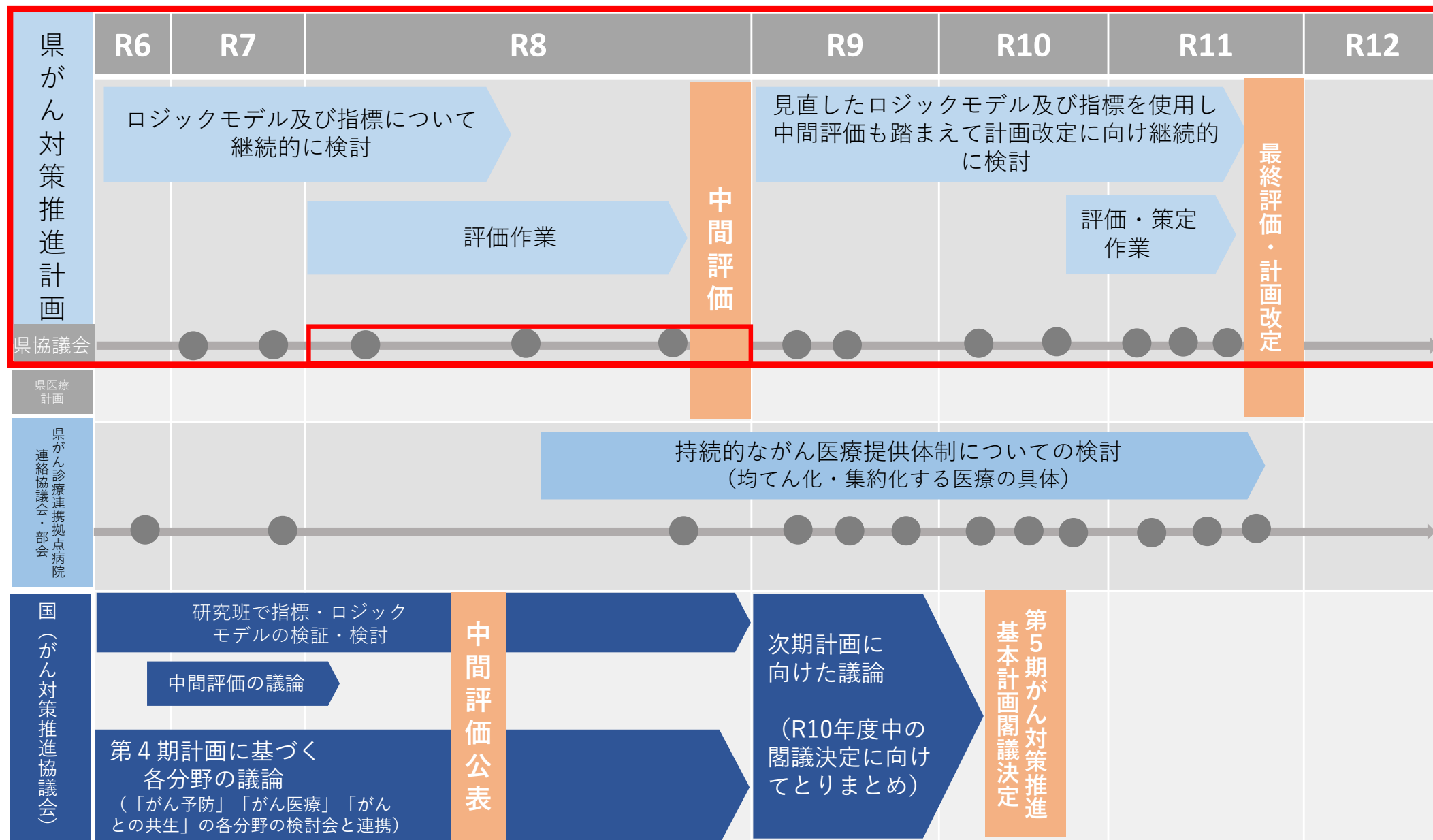


次期計画へ反映

がん対策推進基本計画（第4期）

国は、分野別目標及び個別目標の達成状況について、適宜調査を実施しその結果を公表するとともに、本基本計画の進捗状況を適切に把握し、管理するため、3年を目途に中間評価を行う。

国の計画、県医療計画等との関連



令和8年度 県の中間評価スケジュール

- 今年度、県協議会を3回開催し、中間評価を実施

第1回会議

7月

- ・ 中間評価の目的・スケジュール
- ・ 本県の中間評価方針（評価方法、最終アウトカム指標、コア指標）と構成

書面による意見聴取

8月

- ・ コア指標項目の進捗状況を評価

第2回会議

10月

- ・ 意見集約し、さらに推進が必要と考える事項を議論

第3回会議

1月

- ・ 中間報告書（案）を提示

公表

3月

2 国の中間評価について

2 国の中間評価について

【全体目標】

「誰一人取り残さないがん対策を推進し、すべての国民とがんの克服を目指す。」

【分野別目標：がん予防】

科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

～がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す～

#	最終アウトカム	指標	ベースライン値	測定値（中間）	判定
000002	検診がん種の死亡率減少	がん種別年齢調整死亡率（75歳未満）胃			
000003	検診がん種の死亡率減少	がん種別年齢調整死亡率（75歳未満）女性乳房			
000004	検診がん種の死亡率減少	がん種別年齢調整死亡率（75歳未満）子宮頸			

<進捗状況の評価>

※一部抜粋（例）

~~~~~  
~~~~~

1. 個別目標 ※がんの2次予防（がん検診）一部抜粋（例）

がん検診受診率を向上させ、指針に基づく全てのがん検診において、受診率60%を目指す。がん検診の精度管理を向上させるとともに、精密検査受診率90%を目指す。

●分野別アウトカム

#	分野別アウトカム	指標	ベースライン値	測定値（中間）	判定
100003	検診がん種の早期がん割合の増加	検診がん種別早期がん割合			
100004	検診がん種の進行がん罹患率の減少	検診がん種別進行がん罹患率			

●中間アウトカム

#	中間アウトカム	指標	ベースライン値	測定値（中間）	判定
121201	検診受診率の向上	検診受診率			

●判定一覧

判定	A	B	C	D
分野別アウトカム				
中間アウトカム				

A：ベースライン値に対し、改善傾向にある
B：ベースライン値から変化なし
C：ベースライン値に対し、後退傾向にある
D：測定不能

2. 個別施策

●アウトプット

※赤塗：コア指標

#	個別施策	指標	ベースライン値	測定値（中間）	判定
121101	より科学的かつ効率的な受診勧奨策を、関係学会や企業等の協力を得て、都道府県及び市町村と連携して推進、受診者の立場に立ったがん検診を受診する上での利便性の向上に努める	受診勧奨実施市町村数※			
121103	職域におけるがん検診について、実施状況の継続的な把握及び適切な実施に向けた課題の整理を行い、必要に応じて、法的な位置付けも含めた対応を検討	指針に基づく検診の実施率			

●判定一覧

判定	A	B	C	D
アウトプット				

<進捗状況の評価>

（指標の判定及び施策の取組状況を踏まえて定性的・定量的に評価を記載）~~~~~
~~~~~

#### <がん対策推進協議会としてさらに推進が必要と考える事項>

~~~~~

【厚生労働省 がん対策推進協議会 資料抜粋】

- 評価にはロジックモデルを用いる。
- 全ての指標ではなく、重要な指標（コア指標）に絞って分析・評価をする。
- 「コア指標」を予め選定し、「その他指標」は測定結果のみを提示し、進捗を把握する。

コア指標	(指標数) 96	● 指標としての質が高く、アウトカムへの影響も大きい指標 例) 年齢調整死亡率、罹患率、がん種別早期がん割合、検診受診率（国民生活基礎調査）等
その他の指標	200	● 計画で提示された施策の進捗や効果を把握するために定める指標 ● コア指標の評価の際の分析にも用いられる

3 本県の間評価について

3-1 評価方法

3-2 間評価に向けて

(1) 最終アウトカム指標項目の変更

(2) コア指標項目の設定

3 本県の中間評価について

3-1 評価方法

中間評価の方法は国を参考とする。

① 進捗状況の判定は、ロジックモデルを用い、**4段階で判定**する。

A：策定時から改善傾向 B：策定時から変化なし C：策定時から後退傾向 D：判定不能

② **県の「コア指標」を選定**する。

(指標としての質が高く、アウトカムへの影響も大きい指標)

県の全116指標 ⇒ うちコア指標は概ね半数

3-2 中間評価に向けて

(2) コア指標項目の設定

で議論

③ **全体目標・分野別目標**の進捗状況を評価する。

④ **分野別の個別目標・個別施策**の進捗状況を評価する。

⑤ **分野別目標**毎にさらに推進が必要と考える事項を議論する。

⑥ **分野別の個別目標**毎にさらに推進が必要と考える事項を議論する。

3 本県の中間評価について

中間報告書のイメージ

全体目標・分野別目標の評価

○3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

がん患者やその家族等が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、がんサバイバーシップ向上のために必要な支援を受けることができる環境の整備を目指します。関係者等は、医療・福祉・介護・産業保健・就労・教育支援分野等と連携し、効率的な医療・福祉・保健サービスの提供や、就労・教育支援等を行う仕組みを構築することで、社会的な課題を解決し、がん患者及びその家族等の「全人的な苦痛」の緩和を図ります。これらにより、全てのがん患者が、いつでもどこに居ても、安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現し、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質を向上させることを目標とします。

最終アウトカム	指標	データソース	策定時	評価時現状	目標	判定
患者及び家族の療養生活の質の向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	患者体験調査	72.0% (H30年度)	82.4% (R5年度)	増加	A

書面による意見聴取（8月）において、御意見をいただきたい

進捗状況

- 最終アウトカム指標はAであり、改善傾向にあることが判定された。
- 「現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合」において、前回調査と比較すると、72.0%から82.4%と10.4ポイント上昇し、改善傾向にある。
- 指標の測定結果より、がん患者やその家族等が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境の整備や、がん患者及びその家族等の「全人的な苦痛」の緩和を図ることができてきていると評価できる。

さらに推進が必要な事項

第2回協議会（10月）において、御意見をいただきたい

3 本県の中間評価について

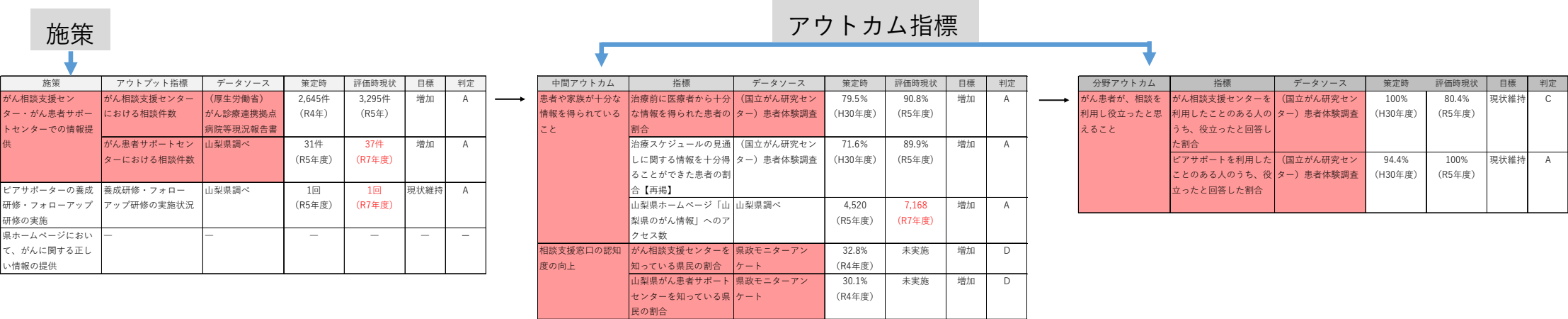
中間報告書のイメージ

個別目標・個別施策の評価

○3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(1) 相談支援及び情報提供

患者や家族が適切な相談支援を受けることができ、全ての県民が必要な時に正しい情報にたどりつくことができること。



進捗状況

- アウトカム指標をみると、分野別アウトカム指標はCが1指標となっており、中間アウトカム指標はCはなく、コア指標（5指標）についてはAが2指標、Cが1指標、Dが2指標であった。
- コア指標のうち、「がん相談支援センターを利用したことのある人のうち、役立ったと回答した割合（100.0%→80.4%）」はCであった。
- 施策（3施策）については、すべての施策において取組が進んでおり、アウトプット指標についてはすべてAであった。
- 後退傾向にある「がん相談支援センターを役に立ったと感じた人の割合」の向上していくため、今後は利用者へアンケートを実施し、課題を検討していくこととする。

さらに推進が必要な事項

第2回協議会（10月）において、御意見をいただきたい

3 本県の間評価について

- 3-1 評価方法 について議論いただきたい。

3 本県の中間評価について

3-2 中間評価に向けて

(1) 最終アウトカム指標項目の変更

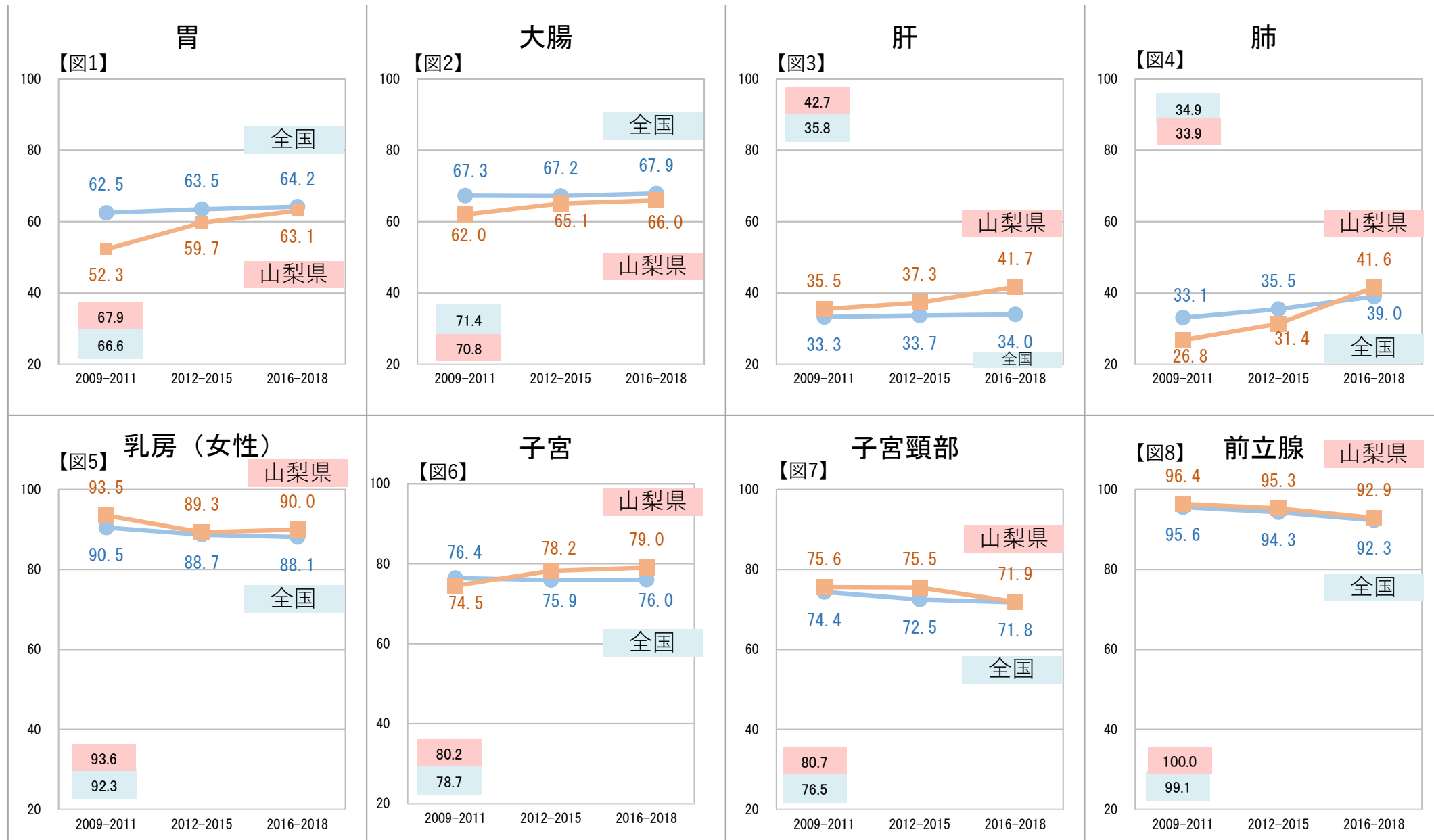
現在の「最終アウトカム指標」

最終アウトカム	指標	策定時	目標
がん罹患率の減少	年齢調整がん罹患率 (人口10万対)	357.7 (R1年)	341.4 (R8年)
がん死亡率の減少	75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万対)	61.3 (R4年)	53.0 (R10年)
がん生存率の向上	5年相対生存率	66.7% (H21-H23年)	69.5% (H30-R2年)
患者及び家族の療養生活の質の向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	72.0% (H30年度)	増加

4. 生存率

資料1より

- 令和8年度から生存率の算出方法が「相対生存率」から「純生存率」へ変更となった。（下記グラフはすべて純生存率）



【参考】
相対生存率（全国）（2009-2011）
相対生存率（山梨県）（2009-2011）

出典：全国がん登録5年生存率報告

3 本県の中間評価について

3-2 中間評価に向けて

(1) 最終アウトカム指標項目の変更

- R8.2に厚生労働省が公表した「全国がん登録5年生存率報告」では、生存率の算出方法が相対生存率から純生存率へ変更
- 最終アウトカム指標『5年相対生存率（全がん部位）』について、今後、評価ができないため、指標を変更する必要あり（山梨県地域保健医療計画のがん対策に関する指標としても設定）

● 生存率の変更点

項目	変更前	変更後
① 算出方法	相対生存率	純生存率
② 部位	全がん部位、各がん部位	各がん部位

● 山梨県地域保健医療計画



目標項目	指標	現状	令和11年度目標
がん罹患率の減少	年齢調整罹患率 (人口10万対)	357.7 (令和元年)	341.4 (令和8年)
がん死亡率の減少	75歳未満 年齢調整死亡率 (人口10万対)	61.3 (令和4年)	53.0 (令和10年)
がん生存率の向上	5年相対生存率	66.70% (2009-2011年)	69.50% (2018-2020年)

(H21-23年)

(H30-R2)

3 本県の中間評価について

3-2 中間評価に向けて

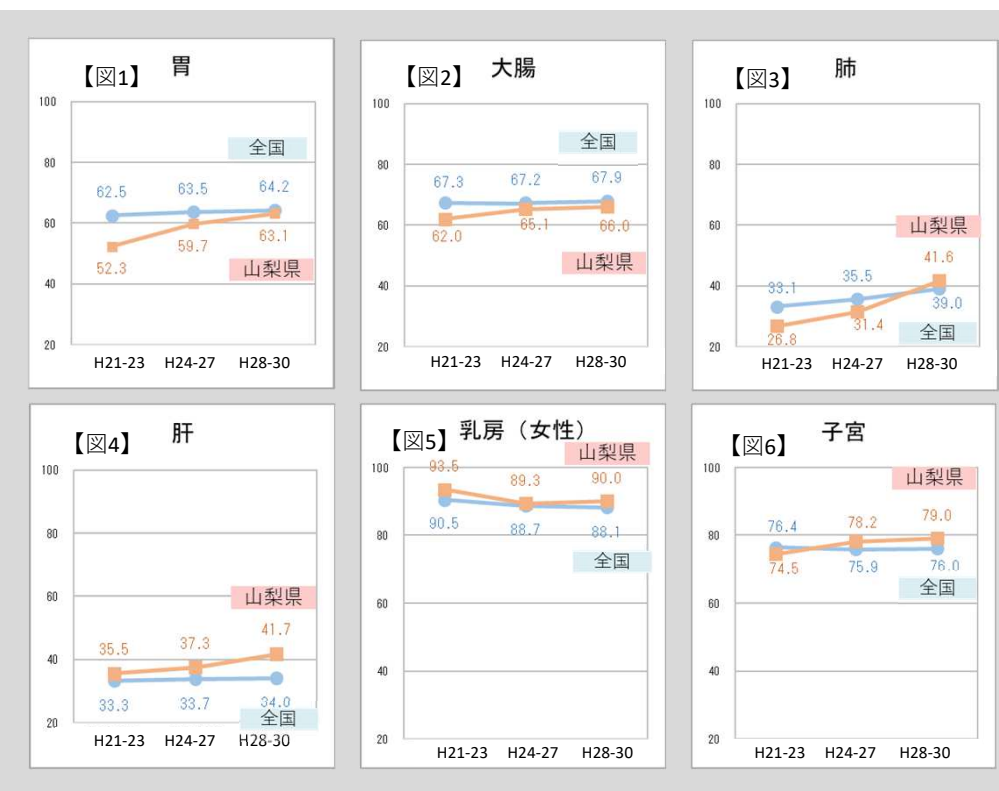
(1) 最終アウトカム指標項目の変更

対応(案)

- 指標・・・・・・ 「5年純生存率」に変更
- 部位・・・・・・ 「各がん部位（胃、大腸、肺、肝、乳房（女性）、子宮）」に変更
- 目標値・・・・・・ 「増加（R1-R3年集計値）」に変更

最終アウトカム	指標	策定時	目標
がん生存率の向上	5年純生存率		
	(胃)	52.3% (H21-H23年)	増加 (R1-R3)
	(大腸)	62.0% (H21-H23年)	
	(肺)	26.8% (H21-H23年)	
	(肝)	35.5% (H21-H23年)	
	(乳房（女性）)	93.5% (H21-H23年)	
	(子宮)	74.5% (H21-H23年)	

【参考】 各がん部位の5年純生存率の推移



3 本県の中間評価について

3-2 中間評価に向けて

(1) 最終アウトカム指標項目の変更

全体【変更前】

最終アウトカム	指標	策定時	目標
がん罹患率の減少	年齢調整がん罹患率 (人口10万対)	357.7 (R1年)	341.4 (R8年)
がん死亡率の減少	75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万対)	61.3 (R4年)	53.0 (R10年)
がん生存率の向上	5年相対生存率	66.7% (H21-H23年)	69.5% (H30-R2年)
患者及び家族の療養生活の質の向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	72.0% (H30年度)	増加

全体【変更後】 案

最終アウトカム	指標	策定時	目標
がん罹患率の減少	年齢調整がん罹患率 (人口10万対)	357.7 (R1年)	341.4 (R8年)
がん死亡率の減少	75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万対)	61.3 (R4年)	53.0 (R10年)
がん生存率の向上	5年純生存率		
	(胃)	52.3% (H21-H23年)	増加 (R1-R3)
	(大腸)	62.0% (H21-H23年)	
	(肺)	26.8% (H21-H23年)	
	(肝)	35.5% (H21-H23年)	
	(乳房(女性))	93.5% (H21-H23年)	
	(子宮)	74.5% (H21-H23年)	
患者及び家族の療養生活の質の向上	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	72.0% (H30年度)	増加

3 本県の間接評価について

- 3-2 間接評価に向けて
(1) 最終アウトカム指標項目の変更 について議論いただきたい。

3 本県の中間評価について

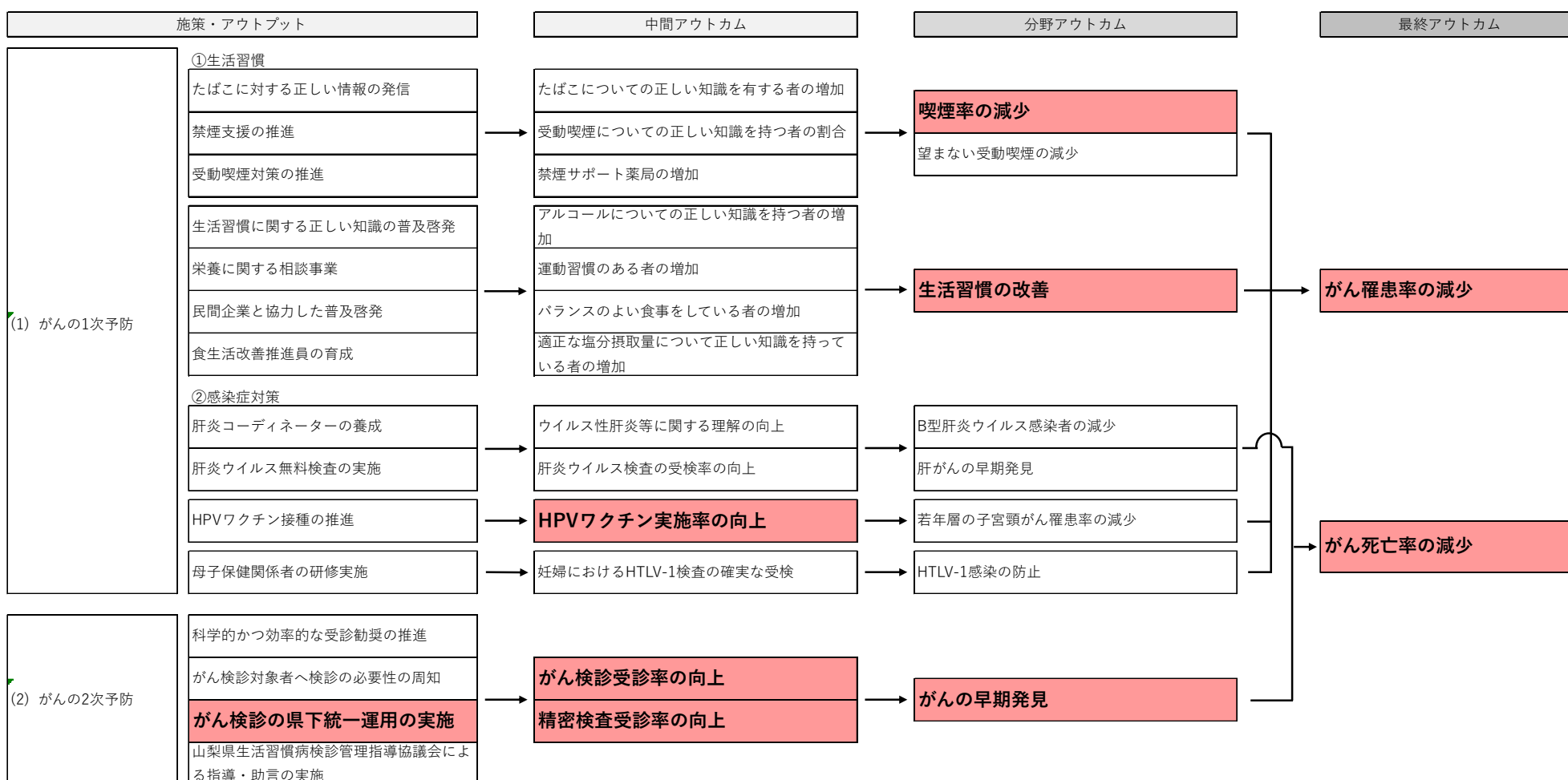
3-2 中間評価に向けて

(2) コア指標項目の設定

指標としての質が高くアウトカムへの影響も大きい、国がコア指標に設定している等を考慮し、本県のコア指標項目（案）を設定した。

○1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

ロジックモデルにおけるコア指標項目

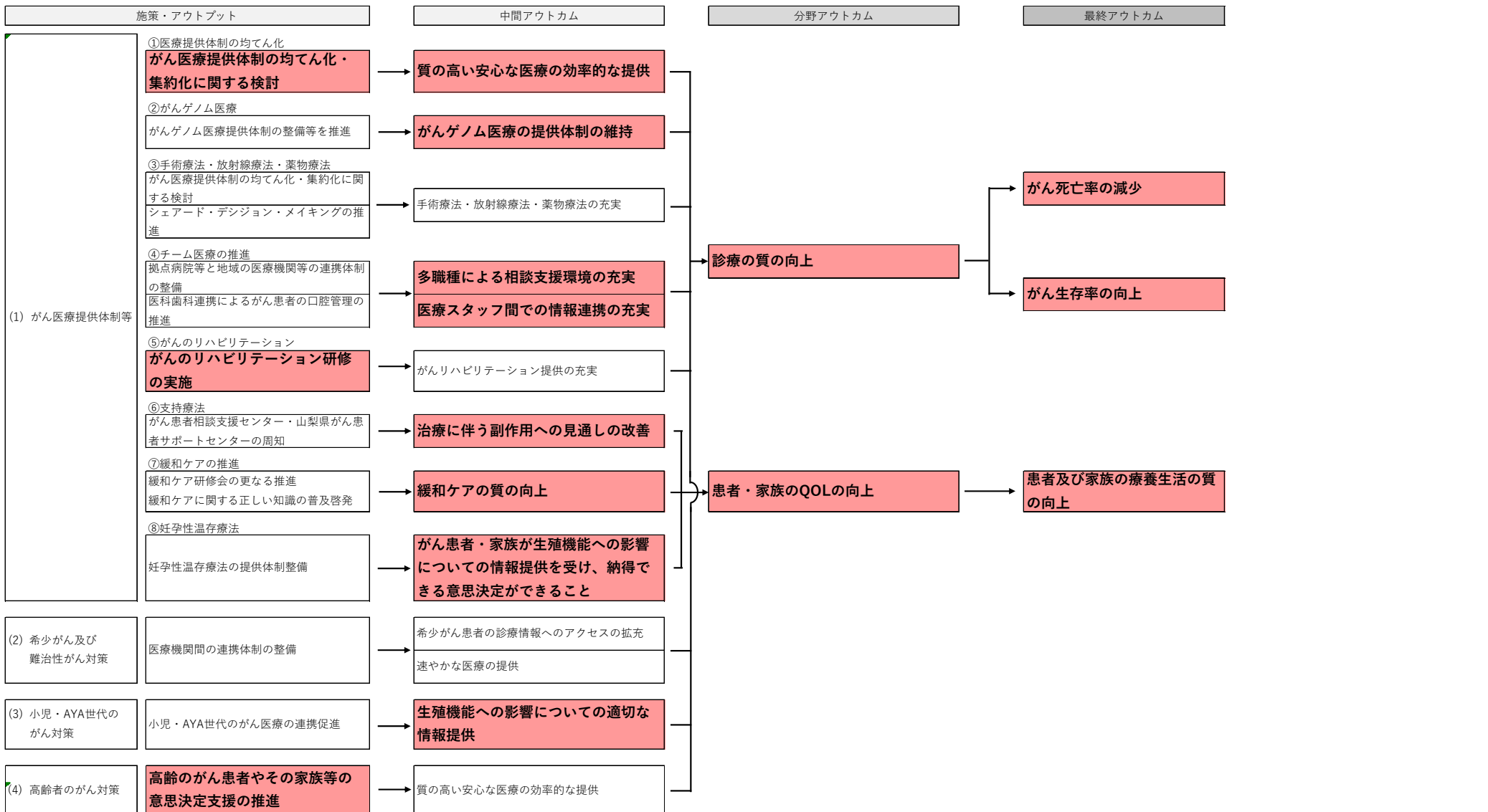


3 本県の中間評価について

3-2 中間評価に向けて

(2) コア指標項目の設定

○ 2 患者本位で持続可能ながん医療の提供



3 本県の中間評価について

3-2 中間評価に向けて

(2) コア指標項目の設定

○3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

ロジックモデルにおけるコア指標項目



3 本県の中間評価について

- 3-2 中間評価に向けて
(2) コア指標項目の設定 について議論いただきたい。